

## 会 議 録

会議の名称		令和4年4月定例教育委員会		
開催日時		令和4年4月26日 13時40分開会 14時40分開会		
開催場所		つくば市役所本庁舎4階 会議室401		
事務局		教育局教育総務課		
出席者	委員	教育長	森田 充	
		委員	倉田 廣之	
		委員	柳瀬 敬	
		委員	和泉 なおこ	
		委員	成島 美穂	
	委員以外の出席者	教育局長	吉沼 正美	
		教育局次長	飯泉 法男	
		教育局次長	久保田 靖彦	
		学校教育審議監	根本 智	
		教育総務課長	笹本 昌伸	
		学務課長	下田 裕久	
		教育施設課長	鈴木 聡	
		健康教育課長	柳町 優子	
		学び推進課長	岡田 太郎	
		特別支援教育推進室長	中島 澄枝	
		教育相談センター所長	久松 和則	
		総合教育研究所長	山田 聡	
		生涯学習推進課長	澤頭 由紀子	
		文化財課長	石橋 充	
		中央図書館長	柴原 徹	
		中央図書館副館長	沼尻 祐一	
		教育局企画監	山岡 めぐみ	
公開・非公開		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	4人
会議次第及び議事		1 開会 2 議事録承認 3 教育長の報告		

	<p>4 案件</p> <p>(1) 議案第 15 号 学校事務共同実施グループにおける総括グループ長及び総括副グループ長の任命について（非公開）</p> <p>(2) 議案第 16 号 令和 4 年度学校事務共同実施協議会構成員の指名について（非公開）</p> <p>(3) 議案第 17 号 つくば市学校給食費の取扱い等に関する規則の一部を改正する規則について（公開）</p> <p>(4) 報告第 14 号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（学校薬剤師の委嘱）（公開）</p> <p>(5) 報告第 15 号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）</p> <p>(6) 報告第 16 号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会事務局職員の人事異動内示について）（公開）</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
--	---

◎会議の概要

1 開会	
森田教育長	ただいまから、令和 4 年 4 月定例会を開催いたします。委員の皆様には本日も御多用のところお集まりいただきましてありがとうございます。
2 議事録の承認	
森田教育長	初めに議事録の承認ですが、3 月の臨時会及び 3 月定例会の議事録を委員の皆様事前に確認していただいております。その後さらに修正等がないようでしたら、議事録を承認することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	ありがとうございます。承認させていただくということで、署名人ですが、3 月臨時会分を和泉委員、3 月定例会分を成島委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

### 3 教育長の報告

森田教育長

続きまして、教育長の報告です。4月、新年度がスタートしまして、まだまだコロナウイルス感染の影響がなかなか収まらない状況で、学校によってはかなり厳しい状況のところもあり、全体的には異動も多かったのですけれども、順調なスタートが切れたと思っています。皆様からのご意見いただいた令和4年度につくば市学校教育指導方針については、市内の先生方に配布して説明会を実施することができました。いろんな意見をいただきまして本当にありがとうございました。指導方針については、教育大綱を具現化するため、教員がよりどころとするものも私たちが考えていますので、教育大綱の実現に向けて、この冊子も活用しながら進めていきたいと思っています。つくば市内では若手も随分増えてまいりまして、ベテランと若手とその教職員が、この教育大綱の本質を理解して、その実現に向けた教育を行わなければならない。この指導方針を活用しながら、学び推進課中心にして、学校訪問等をとおして、助言指導を行っていきたいと考えています。指導方針については、なかなか最終的なところだったので大きな修正ができなかったんですけれども、令和5年度については、学校現場の先生からの声も聞き、皆様委員からの意見も聞きながら、秋頃から相談しながら進めていきたいと思っていますので、ぜひ忌憚のないご意見をまたいただければと思います。異動もありましたけれども、私たちは各幼稚園・学校、そして、先生方の教育の質を上げられるように、一体となって頑張っていかなければならないと思っていますので、委員の皆様にも今後ともどうぞよろしくお願ひしたいと思っています。

それでは、続きまして、人事異動が教育局にもありましたので、ここで職員の紹介をさせていただきたいと思っています。では吉沼局長、お願いいたします。

吉沼局長

(職員紹介)

森田教育長

それでは案件に入りたいと思います。本日は、このレジュメにありますように、議案が3件、それから報告を3件予定しております。本日の案件の進め方ですけれども、いつものように非公開案件を先に審議して、そのあとに公開案件を審議するということ

委員一同	にしたいと思います。そして、この議案の第 15 号、16 号、報告の第 15 号については、人事案件のため、非公開としたいと思います。それ以外は公開として進めます。そのように進めてよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	では、そのように進めさせていただきます。では非公開案件から進めますので、傍聴人の方は申し訳ありませんが一度退席をお願いいたします。
(1) 議案第 15 号 学校事務共同実施グループにおける総括グループ長及び総括副グループ長の任命について（非公開）	
森田教育長	それでは、議案の第 15 号について、教育総務課から説明をお願いします。
笹本教育総務課長	(議案に対する説明)
森田教育長	ただいまの説明に質問や確認事項ございましたら、お願いしたいと思いますいかがでしょうか。 ないようなので、承認するものとさせていただきます。
(2) 議案第 16 号 令和 4 年度学校事務共同実施協議会構成員の指名について（非公開）	
森田教育長	次に、議案の第 16 号について、教育総務課お願いします。
笹本教育総務課長	(議案に対する説明)  (質疑応答)
森田教育長	それでは承認することにご異議ございませんか。
委員一同	はい。

森田教育長	はい、ありがとうございます。ではそのようにいたします。
(5) 報告第 15 号	臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）
森田教育長	続いて、報告第 15 号について、教育総務課、お願いします。
笹本教育総務課長	（議案に対する説明）  （質疑応答）
森田教育長	では、先に進めさせていただきたいと思います。これで非公開の案件は全て終了となりますので、傍聴人の入場をお願いします。
(3) 議案第 17 号	つくば市学校給食費の取扱い等に関する規則の一部を改正する規則について（公開）
森田教育長	それでは、公開案件を議題といたします。議案の第 17 号についてです。健康教育課、お願いします。
柳町健康教育課長	議案第 17 号、つくば市学校給食費の取扱い等に関する規則の一部を改正する規則についてご説明いたします。 令和 4 年度から、市立幼稚園での給食提供が 4 月から開始となりました。それに伴いまして、年間での給食提供回数が増加いたしました。市立幼稚園の教職員の給食費の額を月額 4,700 円から 5,000 円に改正するものです。なお、市立幼稚園の幼児については、給食提供回数がやはり増加いたしますが、小学校 1 年生よりも、給食の量が少ない内容となっているため、給食費の額は変更しないものといたします。
森田教育長	ただいまの説明に質問確認事項ありましたらお願いします。承認することにご異議ございませんか。
委員一同	はい。
森田教育長	では承認するものとさせていただきます。
(4) 報告第 14 号	臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（学校薬剤師の

委嘱) (公開)	
森田教育長	続いて報告案件の方に移ります。報告の第 14 号についても健康教育課、お願いします。
柳町健康教育課長	報告第 14 号、臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について、学校薬剤師の委嘱となります。 島名幼稚園の学校薬剤師につきまして、当初、委嘱を予定した方が、急遽、転居するとの理由から辞退の申し出がございました。そのため、学校薬剤師会、つくば支部と協議をいたしまして、新たな方に学校薬剤師を委嘱するものです。
森田教育長	ただいまの説明に関しまして、質問、確認事項ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	では、報告のとおりとさせていただきます。
(6) 報告第 16 号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について (つくば市教育委員会事務局職員の人事異動内示について) (公開)	
森田教育長	次に、報告第 16 号、これについては教育総務課お願いします。
笹本教育総務課長	報告第 16 号、臨時に代理した事務の管理及び執行の状況についてご説明させていただきます。つくば市教育委員会事務局職員の人事異動内示につきまして、記載のとおり代理により事務を処理させていただきましたので、ご報告するものです。
森田教育長	ただいまの説明に関しまして、質問・確認事項等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	ではこの報告とおりとさせていただきたいと思います。 これで審議すべき案件としては終了になりますけれども、議事の 5 の

	ところの、その他に進ませていただきたいと思います。
5 その他（コミュニティ・スクールの進捗状況についての報告）	
森田教育長	まず説明をしたいことがありますので、生涯学習推進課、お願いいたします。
澤頭生涯学習 推進課長	生涯学習推進課からコミュニティ・スクールの進捗状況をご報告させていただきますと思います。まずコミュニティ・スクールなのですけれども、段階を踏んで導入することとしておりまして、今年度は、吾妻学園が準備期間ということで進めさせていただきたいと思っております。来年度本格的な学校運営協議会を設置する予定となっておりますので、今年度はその準備段階ということで、取り組んでいきたいと思っております。今年度は学校運営協議会を設置するにあたってどのような活動をしていくべきか、また学校と地域とがどのようにして意見を出し合って理解を深めていけばいいのか、その辺について深く協議していきたいと考えております。この中におきましては、今あるPTAや、すでに地域で活動されているボランティア団体など既存の組織や活動を生かしながら、学校と地域とがどのように、話し合いを行っていくかということも中心に進めていきたいと考えております。吾妻学園は準備期間となりますが、これと並行しまして、今年度は8学園についてはその前の立ち上げ準備期間と位置付けておりますので、この8学園につきましても今年の10月ごろから順次導入に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。 補足なのですけれども、以前成島委員からご意見をいただいております学校運営協議会の名称について、「運営」という言葉には一部の偏った人のみの参画というイメージがあるということでしたのでこの言葉を使わずに、コミュニティ・スクール協議会というような名称で位置付けていこうかということで検討を重ねているところでございます。 以上、今年度の大まかな予定ですが、ご報告させていただきます。
森田教育長	今の説明に関して、質問や確認事項ありましたらお願いしたいと思います。
和泉委員	準備段階での話し合いの頻度と参加するメンバーを、わかる範囲で構

	<p>いませんので、教えていただけますでしょうか。</p>
澤頭生涯学習 推進課長	<p>吾妻学園の例なのですけれども、今年度は、コミュニティ・スクール推進会議ということで、年3回程度の開催を予定しております。メンバーについては、学校長、教頭、教務主任、あとはボランティア団体の方、そういった方々で構成するメンバーで行っていきたいと考えております。</p>
和泉委員	<p>教育局からは、何人くらいどういう方が入るのでしょうか。</p>
澤頭生涯学習 推進課長	<p>まず第1回目が来月を予定しております、生涯学習推進課の担当、具体的に言いますと、課長、課長補佐、社会教育主事になりまして、このときに委嘱を予定しておりますので、局長、次長も参加する予定であります。</p>
森田教育長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>
柳瀬委員	<p>推進会議の事務局というのは、生涯学習推進課がするのですか、それとも別のものを立ち上げるのでしょうか。</p>
澤頭生涯学習 推進課長	<p>生涯学習推進課と各学園とで両方で、事務局となって進めていく予定でございます。</p>
柳瀬委員	<p>両方なのですね。今までPTA組織というのがあったわけですね。PTAは学校の教務主任クラスの人が事務局をやっていたと思います。保護者の会と学校の校長・教頭が、一緒になってやっていたのがPTAの組織だったと思います。つまり、この推進会議ではP(parents)とかT(teacher)という概念は残るのでしょうか、それとも残らないのでしょうか。今までのPTAの発想ではC (community) が抜けているので、PTACということをして一生懸命言っていたりしていたのです。PTAに地域の人に加わってもらってPTACとしてやった方がいいのではないかという発想がありましたが、その辺はどうなのでしょう。</p>

澤頭生涯学習 推進課長	今のご質問は、今ある PTA と、これから設置される学校運営協議会の件かなという理解でお話させていただきますと、PTA の中から学校運営協議会に参画いただきまして、PTA と学校運営協議会とが連携しながら、というイメージになります。PTA の中から学校運営協議会に入っていた方がいると PTA との連携もしやすくなりますので、そういったメリットのところから、互いに補完し合いながら進めていきたいと考えています。
柳瀬委員	もちろん今までの PTA をなくすということではないと思うので、PTA は PTA としてあって、P や T は一応残っていて、その中から代表者が今回の推進協議会に出ていくということですよ。
澤頭生涯学習 推進課長	はい、柳瀬委員のおっしゃるとおりのイメージです。
柳瀬委員	わかりました。つまり今までの PTA に C をくっつけるのではなくて、別の組織を作って、そこへ P と T を入れていくということですね。
澤頭生涯学習 推進課長	はい。
柳瀬委員	了解いたしました。
森田教育長	他にはいかがですか。
和泉委員	地域と学校との連携が一番のポイントだと思うのですが、今お聞きしたメンバーだと地域の参加が足りない気がしたのですけれども、いかがでしょうか。
澤頭生涯学習 推進課長	私の説明が足りなかったのかと思うのですが、地域の団体の方からも出ていただきまして、それで 30 人以内で構成することを今考えておまして、吾妻学園は大体 25 名程度になるのではないかなと考えております。その中に、地域コーディネーターという職を設けまして、その方

	<p>が学校と地域とうまく連携していただく、そういったことになっていただく方を、活用しながら進めていきたいなと思っております。</p>
森田教育長	<p>地域の人も入るし、学識の方も入るしということで、幅広く 25 人程度を学校の方と協議しながら選んでいるという状況ですかね。かなり地域の人は入っている状況ですよ。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>はい。</p>
森田教育長	<p>はい、柳瀬委員。</p>
柳瀬委員	<p>PTA にこだわってしまいますけれども、PTA は、A (association、アソシエーション) なのです。今回のコミュニティ・スクール協議会の「協議会」ってアソシエーションなののでしょうか。アソシエーションは「くっつける」という意味なのですから、協議会はどうなののでしょうか。</p>
森田教育長	<p>みんなで意見を出し合って、学校の進むべき方向をみんなで協議するような、そういう組織ということになるのですかね。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>そうですね、今まで校長がすべて決定をしていたところを、皆で考えて助け合っていこうというような理念のもとに行う活動だと思っております。</p>
柳瀬委員	<p>そうしますと、「協議会」という名前だけでも実際には「実行部隊」ということになると、「協議会」とはちょっと性質が変わるような気がします。「協議会」というのはみんなで意見を出し合ってそれを反映できればいいねというのですが、「実行部隊」というのは、学校であったり先生であったりというイメージが強いのですが、PTA は、自分たちで何か主催してアクションを起こすところもあったけれども、基本的にはあまり自分たちで事業をしないですよ。今度は、この協議会は何か事業を起こしていく、活動していくという母体であるということですかね。30 人の推進協議会というと、なかなか意見がまとまらないのでは</p>

	ないかと思うのですが。
成島委員	推進までいかない、協議で精一杯なのではないかと思ってしまいます。
柳瀬委員	<p>実際に何かこう動かしていくためには、会議だとすると、30人というのはちょっとなかなか集約できない人数ですよ。広く意見を聞きましょうということだったら30人でいいと思いますが、その辺はどういう方向性に向かっていくのかなということが気になりました。</p> <p>つまり、広くみんなで共有しましょうという性質のものなのか、具体的に問題がいろいろあるので協力して解決していきましょうという実行に重きを置く性質のものなのか、ということです。</p>
澤頭生涯学習推進課長	そうですね、今のところの認識ですと、柳瀬委員が今おっしゃった後段の部分になろうかと思ひまして、皆で実行していこうよというところで、活動を進めていくように思っておりますが、今後どのような形になってくるのかも、またご報告させていただきたいと思ひます。
柳瀬委員	PTAとしてみんなで行っているのって廃品回収とか立哨くらいですよ。そうでもないのでしょうか。
成島委員	コミュニティ・スクールの委員は、任期はありますか。
澤頭生涯学習推進課長	今年度は1年委嘱して、続けたい場合の再任は妨げないこととしております。
成島委員	何か変えようとしたり行動したりしようとする1年では何もわからないと思うのですが、何年間も任期があると億劫になるので、再任があるのは良いのかなと思ひます。
森田教育長	25人や30人といっても、きっと意見を出し合ったり課題を出し合ったり運営の方針を出し合ったりするのは、みんなの意見を聞いてということになりますが、実際に動くとなるとその中のある人が中心になって

	<p>ある組織を動かしていくとか、実際に動くときには別組織が立ち上がることもあるのかなと思っています。例えば、防災に関して地域みんなでやる必要があるよと言ったときにはその防災関係の人が、コミュニティ・スクール協議会で話し合ったことをもとに、それを参考にしながら防災キャンプやろうとか、そういう動きに広がったりもするのではないかと思います。</p>
成島委員	<p>コミュニティ・スクールで決定したことは教育委員にはあげる必要はないのでしょうか。</p>
森田教育長	<p>特にあげる必要はないです。</p>
倉田委員	<p>基本は、学校に何らかの形で教育に関わっている人が組織して、それで、この学校のこの地域においてどういうふうに学校を運営していくかということが大前提だと思います。法人化している人や何かやっている人とか、地域のいろんな各方面からいろんな意見をもらえるような人選・組織づくりが基本だと思います。本来であれば地域のことを校長が全部把握して、人選をできればいいですけど、それはなかなか難しいので、だから、結局コーディネーターを置いて人選を協議していくということになってくると思います。そこに学校経営の専門家も入れて協議することも非常に大切だと思うので、組織づくりがまず大切ですね。だからそこら辺の人選で、正直大きく変わる場合もあると思ったほうが私はいいと思います。</p>
和泉委員	<p>PTA と学校評議員とコミュニティ・スクールの住み分けがよく分からなくなりそうです。</p>
成島委員	<p>PTA は、在校生の保護者が、やるものというイメージはありますが、これはその枠組みに囚われないということですよね。</p>
和泉委員	<p>PTA いらねえってなりそうですね。</p>
成島委員	<p>実際に PTA はいらねえという動きのところが増えてきている現状だ</p>

	<p>からこそ、地域の力が必要だという声が上がってきたような気がするので、誰かが絶対にやらなければいけないという押し付けのような PTA というものから、やりたい人たちが盛り上げるというコミュニティ・スクールという組織として、地域を巻き込んでやるために上がってきたものだとは思っています。でも、在校生の保護者が、積極的でないと困るはずなのにとは気になっています。</p>
倉田委員	<p>でも基本は校長がリーダーシップをとって、まとめていかなければいけないと思います。そこがぶれてしまうと、学校がおかしくなってしまうので、そこら辺は十分配慮しないといけないと思います。</p>
成島委員	<p>校長先生も異動があるからこそ、地域性を大事にする必要があるということもありますよね。</p>
森田教育長	<p>ただ、コミュニティ・スクールは全体の動きで、PTA はその中の保護者を中心とした組織であります。ですから PTA の意見が地域に反映したり、地域の意見が PTA の活動に反映したりして、お互いに助け合っていくような組織になれば一番いいと思いますね。</p>
成島委員	<p>うまくいくといいですね。</p>
柳瀬委員	<p>まあまずはテーブルを開いて話し合いの場についてみましょうという段階ですよね。</p>
森田教育長	<p>学校のあり方をみんなで考えてみましょう、地域の人と一緒に決めてみましょうというところに、まず一步踏み込んでいくということですかね。</p>
成島委員	<p>各々に活動する団体が一同に集まる機会がなかったということなのですね。</p>
森田教育長	<p>それもありますね。</p>

柳瀬委員	見守りとかおやじの会とか、同じようなことをやっているけれども同じ席にはついていたことがなかったのですかね。
成島委員	そこをつなぐ役割になっていくと良いですね。
森田教育長	そこも大きな役割の1つですね。貴重な意見をありがとうございます。
和泉委員	私は本当にすごく可能性を秘めていると思っていて期待すると同時に、究極的にはまちのみんなで子供を育てようと、子供が真ん中にいると思うのです。なので、この組織にも子供の声ということで子供の参加を考えてもいいのではないかとすごく感じています。アメリカの事例でそういうものがあって、生徒会長を務める子供でなくても良いのですが、子供が何人か入って一緒に運営していくというケースもあります。何かそこが今までのいろいろな学校を取り巻く組織の中で差別化できる点であり、ちょっとやってみたいという気がしました。もちろん、いきなりは難しいかもしれないですけども、ゴールはやはり主体である子供の存在、声を直に拾うという運営が良いのではと思います。
柳瀬委員	例えば、運動会をもう少し地域の運動会にまた戻してみようかという話があったときに、子供たちはどう思っているのかというのも聞いた方がいいですね。子供たちは昔の地域の運動会というイメージはもうないですから。大人と子供の発想の違いはあるので、少なくともコミュニティ・スクール協議会で子供たちの意見をどう拾い上げるかという話をした方がいいですね。
森田教育長	はい、澤頭課長どうですか。
澤頭生涯学習推進課長	はい、ありがとうございます。コミュニティ・スクールの取組は、つくば市は全国的にも早い取組みの部類に入ってくるのかと思うのですが、さらに進んで取り組んでいる自治体がございますので、そういった事例も研究しまして、もしなかったとしても、つくば市ではどのように取り入れていけるのかというところを探っていきたいなと思い

森田教育長	<p>ます。</p> <p>本当に、協議会の方でこれは子供たちの声もぜひ聞いてみようよという発想はやっぱり大事だと思うし、今年、教育大綱の「管理」から「自己決定」という、子供たちが話し合っで決めるということも目標にして取り組んでいくのですが、そのとき、保護者の方の意見も聞いてみようよという発想もやっぱり大事だと思います。みんなの声を聞くという、社会はみんなで作るという考え方をこれから広めるということはすごく大事だなと思うので、今のことをしっかり参考にしてやっていきたいと思っています。ありがとうございます。</p> <p>他にはありますでしょうか。よろしいですか。</p>
委員一同	はい。
5 その他（成島委員より：幼稚園のインターネット環境について）	
森田教育長	<p>その他でもし、委員さんの方から問題提起とか、次回までにこんなことをぜひとか、そういうことございましたらお願いしたいと思っています。</p> <p>では、成島委員お願いします。</p>
成島委員	幼稚園のインターネット環境を良くするにはどこにお尋ねすればよろしいでしょうか。
吉沼局長	<p>こちらでもそういう課題意識を持っていまして、幼稚園からもそういう聞き取りもしていまして、場合によっては予算も伴ったりするものなので即答はできませんが、教育局の中では、例えばですが、小学校で先生方にも好評な LEBER という健康管理アプリの使用を幼稚園でもできるのではないかなということを検討して、そうなってくるとやはり PC 環境がどうしても必要になってきますので、そういう前提で何とか PC やインターネットの環境をよくすることができないかなということで、今まさに取り組もうとしているところです。ただ、具体的にどういうふうにパソコンあるいはインターネット回線の整備をどのようにするかという具体的なところを検討しているところで、幼稚園の場合は市の施設ですので、教育局だけではなく例えば市長部局の情報系の部署とも連携する必要もあるのかなとも思っていますし、そういったことを今</p>

<p>成島委員</p> <p>森田教育長</p>	<p>から少し始めていきますので、また改めて、報告できるタイミングでご報告させていただければと思います。</p> <p>せっかく各幼稚園が作ったホームページも、なかなか更新が自分たちではできないとかいう話を聞くと、小学校は各々の学校で毎日のように更新できるのに、それはちょっともったいないなと思ったので、ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>幼稚園の先生方からもご要望を聞いていますので、ぜひ進めたいと思います。せっかくホームページを作ったのに、更新しないと見られなくなってしまいますからね。はい、ありがとうございました。</p>
<p>5 その他（柳瀬委員より：事前にメールで提案のあったことについて）</p>	
<p>森田教育長</p> <p>柳瀬委員</p> <p>吉沼局長</p> <p>柳瀬委員</p>	<p>その他には何かありますでしょうか。ないようであれば、柳瀬委員のメールの件をお願いいたします。</p> <p>新年度になりまして、教育委員の方での要望なのですが、昨年度、各事業の点検・レクチャーというのを、委員会とは別にやっていただきました。委員会の前に時間を取っていただいてやったのですが、同じような形で、今年度もお願いした方がいいのかなと個人的に思っています、教育委員の皆さんとちょっと相談したいなと思うのですが。今年度新規での事業もあるでしょうし、重点課題に考えていることとかが、去年は非常によくわかったので、今年度もお願いしたりしたいと思うのですが、どうでしょう。やり方については定例の前でやるかどうかというのも含めて、ちょっと検討していただけたらと思います。</p> <p>昨年にやったように、ぜひ、次の教育委員会の前とか、やり方は前年度と同じような形で進めさせていただければと思います。場合によってお時間を少し長めに、教育委員さん皆さんにはいただくことがあるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思います。やり方としては同じようにやっていきたいと思っています。</p> <p>はい。皆さんよろしいですかね。やっぱり来年度の新事業を検討する前にやっぱりやっておかないと、もう再来年という話になってしまいま</p>

吉沼局長	<p>すから、どうかひとつ夏ぐらいまでにできればよろしく申し上げます。</p> <p>できるだけ早くやりたいと思います。</p>
柳瀬委員	<p>それから、学校施設訪問なのですが、コロナがありますので去年は控えめました。今年度可能でしょうか、学校の状況はどうでしょうかね。</p>
笹本教育総務課長	<p>令和3年度につきましては、2月初旬に計画していたところを、一斉の臨時オンライン授業の方に切り替えるということで、急遽、学校訪問については中止になったという経緯がございます。今、コロナの感染者数については、減少傾向にはありますけども、ある一定の期間やっぱり注視する必要があるのかなとは思っていますので、ちょっと状況を見ながら、可能な限り学校訪問の計画をしていきたいと考えております。</p>
柳瀬委員	<p>よろしく申し上げます。教育委員の立場なので、指導・助言に行くというわけではないので、何かやっぱり段々何校目かになるとすごく丁寧によくご案内していただくのですが私はその必要はないと思っていて、校長先生と面談することも大事ですけれども、やっぱり学校の雰囲気とか、そういう子供たちの雰囲気を感じ取りたいなと感じます。授業を見せてもらっても、指導をできるのは倉田先生しかいませんし、やっぱり雰囲気を知りたいです。そんな希望があります。</p> <p>それから教育委員と有識者・専門家との意見交換がもうちょっとできたらいいのではないかなと考えています。1つは先ほど出た学校産業医方が、今の先生方のストレスや労働環境をどういうふうにとらえているのか、ストレスチェックの内容について私たちはちょっと知りえないのですが、そういうことも懇談する機会があってもいいのかなと思いました。働き方改革を考える際の1つの大事な観点ではないかなとは思いますが。産業医の先生は、学校衛生委員会の関係で学校には頻繁に行かれていますのでしょうか。</p>
柳町健康教育課長	<p>学校にもよるのですが、大体月1回程度衛生委員会を開いておりますので、場合によっては行かない場合もあるのですが、年に1、2回程度は行っているかとは思っております。</p>

柳瀬委員	<p>各学校で解決できないような課題とか問題とか、全体で話した方が良 いのかなということがもしあったとしたら、話が上がってきてないの ではないかなと思うのですけれども。</p>
柳町健康教育 課長	<p>前回、教職員の方の職員室の職場環境についてご指摘がありまして、 私どもで実際に現場の方に行って確認をして、解決に繋がっているよう な部分も十分ございます。</p>
柳瀬委員	<p>なるほど。ではぜひ課題と事例を教育委員会の方にもあげていただい て、もしあったらまた教えてください。</p> <p>それから、同じようなことで、総合教育会議でも教育長とお話しまし たけれども、つくばスタイルとか小中一貫とか。もうつくば市では当 たり前になっていますが、やっぱり先生方も異動があったりするので、そ れはいつも話していかなくてはいけないねと教育長もおっしゃられて いましたけど、やっぱり常に、何のための小中一貫だったのかという問 いかけがずっとあっていいと思います。そういうのも、例えば筑波大学 の樋口先生とかはカリキュラムの方の専門ですけど、もう1回そのカリ キュラム上での小中一貫の意味というのも話を聞いてみる機会があっ てもいいと思うのです。最初はみんなわかっていたことかもしれませんが、 繰り返した方がいいかなと思います。どうでしょうか、まだ時期と しては早いですかね。</p>
森田教育長	<p>必要に応じて、専門の先生方の意見を聞くような機会も作っていき たいと思いますし、今おっしゃった小中一貫教育とか、そういう原点に戻 って、学校の評価・教育の評価をしてもらい、教育委員さんにも報告し てもらうような機会を作ればいいかと、総研の方とも今相談していま す。</p>
柳瀬委員	<p>これはもう本当に面倒くさい話で、繰り返しやらないといけない課題 だと思います。みんな分かっているかなと思っていた時には実は分から なくなってしまうみたいなことがあるから、やっぱり繰り返した ほうが良いかなと思います。これは1つの提言です。今年度、教育委員</p>

<p>森田教育長</p>	<p>会でどういことができるのかというのを各事業のレクチャーのときに、もうちょっと全体的に専門家に話を聞いたらどうでしょうなんて話も含めてできたらと思います。平沢官衙遺跡の話もありますしね。どうやったら市民参加できるかなというのは、これは文化財課にだけお任せするというだけの話ではちょっと収まらないと思うので、教育委員会全体としてどうやって協力できるかとか、市民にどのように啓発をするのかとか、もうちょっと時間が欲しいかなと思います。以上です。</p> <p>柳瀬委員の御意見も頂戴しましたので、しっかりいろいろ工夫して進めていきたいと思っています。ありがとうございました。</p> <p>はい、和泉委員。</p>
<p>和泉委員</p>	<p>学校教育施設訪問について考えていたのですが、去年、次長の素晴らしい案内で見させてもらって本当に実際に見ることの意味を感じたこともあり、なるべく見させて欲しいなという気持ちがあるのですが、学校に行く場合に、今日は教育委員が来るよって言って朝から子供たちが掃除をすとか、そういうのではなくて、それこそ私たちが立哨当番やりながらその学区のことを感じるぐらい本当に日常の姿を感じたいなという気持ちがあるで、何かそういうやり方がもしできたら良いかなと思います。別にそこで指導がなっていないとか私はそういうことを見たいとは全く思っていないで、先生や子供たちがどういう気持ちで過ごしているのかとか雰囲気を感じたいなと思っています。というのも、私の子供がもう小中学生ではないこともあって、見させていただけたらなと思うのが1つです。</p> <p>あと、交流センターについて、生涯学習のあり方について、教育は学校だけではないということを感じていて、不登校支援にしても子供の居場所を作るといときに、交流センターはすごく大きな役割を果たしています。近所の交流センターに時々行きますが、何かしら生涯学習とか社会教育の側面も見ていった方がいいのではないかと感じました。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>交流センターというと市民部になりますが、居場所作りの一部として見れば教育局の範疇なので、そこを見に行きますっていうことはできま</p>

	すかね。
柳瀬委員	交流センターは今どこの管轄なのですか。
吉沼局長	市民部です。教育長がおっしゃったとおり、居場所の話だとか、あるいは交流センターによっては中央図書館と連携した図書室を持っていたりとか、もろもろ生涯学習の観点での教育に関わる部分が結構たくさんありますので、建物の管理上は市民部にはなっていますが、ただ具体的にその日その日にどういう事業をやっているかまでは我々は把握していないので、例えば、その辺はちょっと調整させていただいて、行けるときに行けるようにはしたいと思いますので、ご理解いただければと思います。
柳瀬委員	それは見学に行けるということですか。
吉沼局長	それは全然大丈夫だと思います。
森田教育長	そういうご希望あれば実現できるようにしていきたいと思います。そういうところも細かいところはこれから相談しながら進めていければと思います。 では、よろしいでしょうか。1年間、本当によろしくお願いいたします。定例会としては、以上で終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

◎会議録の調製

調製年月日	令和4年(2022年)5月26日
調製者	吉沼 正美